



山岡細寒天の作り方／

市公式YouTube  
チャンネル「山岡細  
寒天2025」

山岡町 下手向  
三浦 ひとりの  
仁憲さん (47歳)

#### プロフィール

㈱丸三寒天冷凍部の3代目。本年5月に行われた第70回県寒天展示品評会で、最高位の農林水産大臣賞を受賞した。仕事終わりにYouTubeなどを見ながら芋焼酎を飲むのが日々のご褒美。40代から健康に気を付けるようになり、ザクロジュースと豆乳が、お薦めだとほほ笑む。



▲農林水産大臣賞受賞を喜ぶ三浦さん

市内で細寒天製造が始まって本年で100年。5月に行われた第70回県寒天展示品評会で、㈱丸三寒天冷凍部の三浦仁憲さんが農林水産大臣賞を受賞した。冬の厳しい寒さと晴天の多さを生かし、細寒天の生産量日本一を誇る山岡町の伝統を未来へとつなぐため、毎日早朝から細寒天作りに励んでいる。三浦さんは短大卒業後、医療事務職に従事。26歳で結婚などを機に家業の細寒天製造を継ぐことを決意した。現在は8人の従業員と共に、厳選した天草を使い、質の高い細寒天を作り続けている。天草を独自に配合した細寒天は、先代から学んだ技術と日々の試行錯誤のたまものである。「自然相手の仕事は一筋縄ではいかないが、その難しさが面白い」と細寒天作りの魅力を語る。

本年、努力が実り、農林水産大臣賞を受賞した三浦さん。「昨年は寒い日が続く細寒天作りには好条件だったが現場は大変だった。従業員全員の頑張りが認められてうれしい」と笑顔で振り返る。天草不足と担い手不足が深刻な細寒天製造業。令和元年に450トあった天草の収穫量は本年210トに半減。最盛期に120軒あった製造業者は7軒にまで激減している。三浦さんは「伝統を大切にしつつ革新を起こさなければ山岡細寒天は失われる」と、本来難しいとされているマクサの養殖を、海藻の養殖を行う会社に依頼している。また、子どもたちに細寒天の魅力を伝えるため、工場見学を受け入れや学校給食への提供も行う。「細寒天は食物繊維が豊富な食品。糖尿病予防や肥満改善、がん予防に効果があるとされている。恵那の自然が育む山岡細寒天を多くの人に知ってもらいたい」と話す三浦さん。市が誇る山岡細寒天を未来につなぐため、自然と向き合いながら伝統を守り続ける。

※1 ところんや寒天の原料になる海藻の総称  
天草の種類の一つ。細寒天には主にマクサが使われる

## 100年の伝統を未来につなぐ 地域が誇る健康食品 山岡細寒天

### 10/25 岩村町本通りを走る未来の車 自動運転EVバスの実証実験



市のホットなニュースを紹介！

その他の話題はこちらから▶



岩村城下町で自動運転EVバスの出発セレモニーを開催し、約200人が参加しました。11月9日(日)まで、明知鉄道岩村駅から岩村歴史資料館の区間で「レベル2」の実証実験を行いました。



### 10/2 市内初！ 女性消防団員の誕生

市消防団大井分団に市内初の女性分団員、柳瀬初奈さんが入団。市役所で辞令交付式を行いました。柳瀬さんは「技術を学び操法大会に出場したい」と目標を掲げました。



### 10/13 祝開館！ 市中央図書館岩村分館

旧岩村振興事務所が二つの「まなぶ」拠点施設に生まれ変わり、それぞれで開館記念式典やオープニングイベントが開催されました。



### 10/11 リレー・フォー・ライフ ・ジャパン2025えな

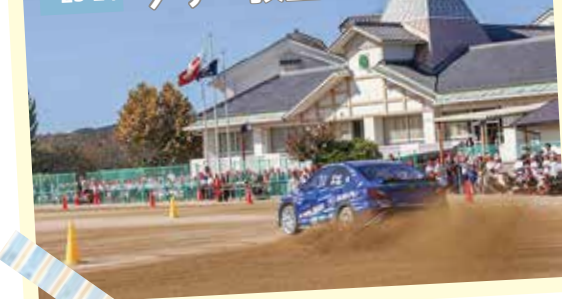
がん征圧を目指すイベント「リレー・フォー・ライフ」が本年も開催されました。参加者らは思いを書いたルミナリエバッグの周りでリレーウォークを行い、がんで亡くなった方をしのびました。



### 10/19 ねんりんピック岐阜2025 マレットゴルフ交流大会

全国健康福祉祭「ねんりんピック」のマレットゴルフ交流大会が山岡マレットゴルフ場で開催され、全国から97人が参加しました。山岡町在住の鈴木久義さん(96歳)が交流大会高齢者賞を受賞しました。

### 10/23-24 ラリー選手による ラリー教室を開催



大井小と恵那北小でラリー選手によるラリー教室が行われました。ラリークイズの後、グラウンドで選手によるデモ走行が行われると、児童から大きな歓声が上がりました。